

# 患者の皆様へ

2020年4月21日

呼吸器外科

現在、呼吸器外科では、「Modified frailty index と肺癌術後合併症の関係」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では2017年に肺癌に対して肺切除術を受けた患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「Modified frailty index と肺癌術後合併症についての検討」

2. 研究の意義・目的

Modified frailty index により肺癌術後合併症を予測できるかどうかを検討する。

3. 研究の方法

本研究では、患者さんのカルテからデータを集積し解析を行います。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院呼吸器病態外科学教室の鍵のかかる棚で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

**研究実施機関** : 千葉大学医学部附属病院呼吸器外科

**本件のお問合せ先** : 医学部附属病院呼吸器外科

医師 和田 啓伸

043 (222) 7171 内線5463